

税の仕組みと財政



租税教育キャラクター

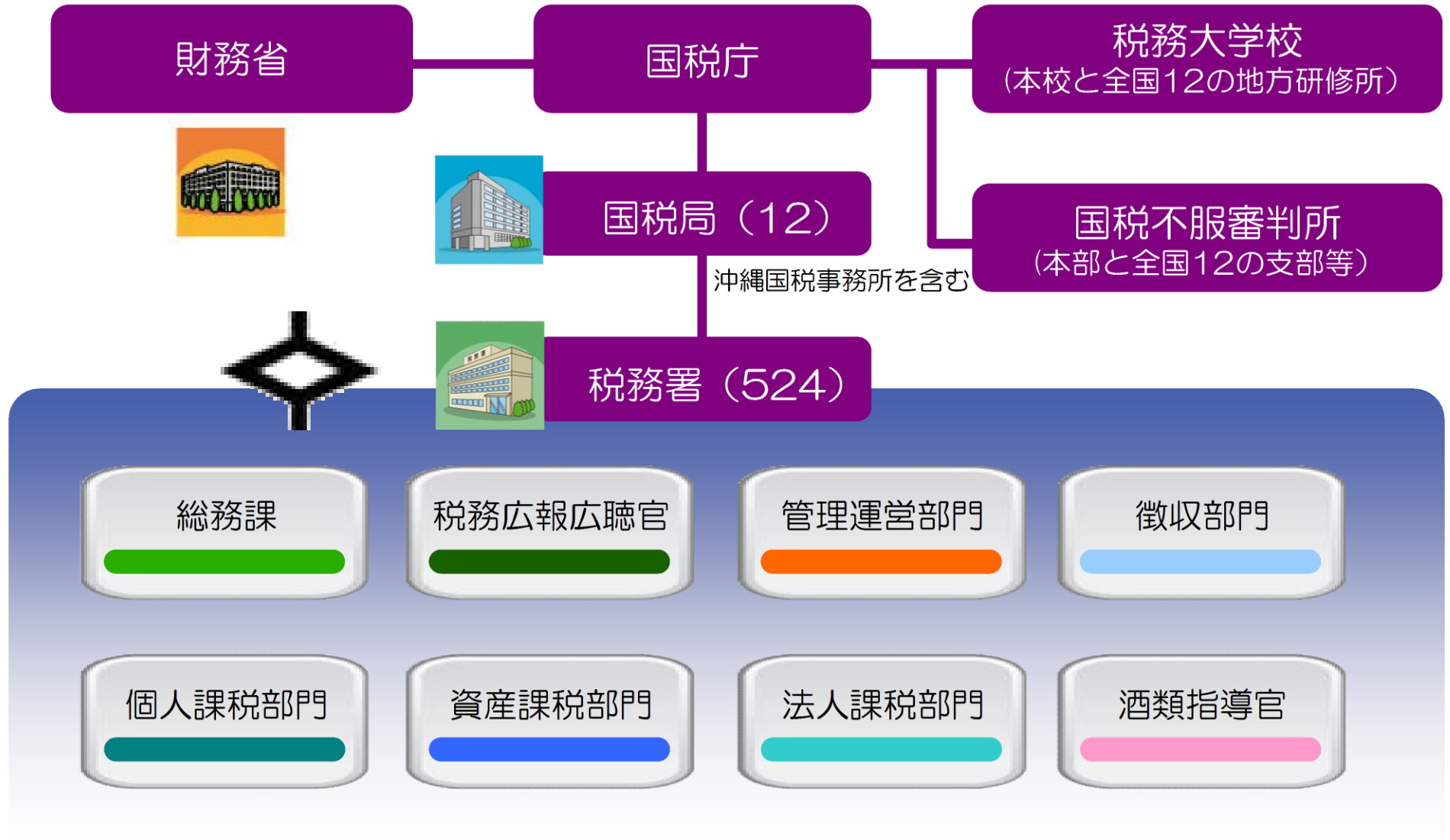


ゼイタくん

ゼイナちゃん

私たちの町の税務署の仕事

～国税庁の組織の機構～

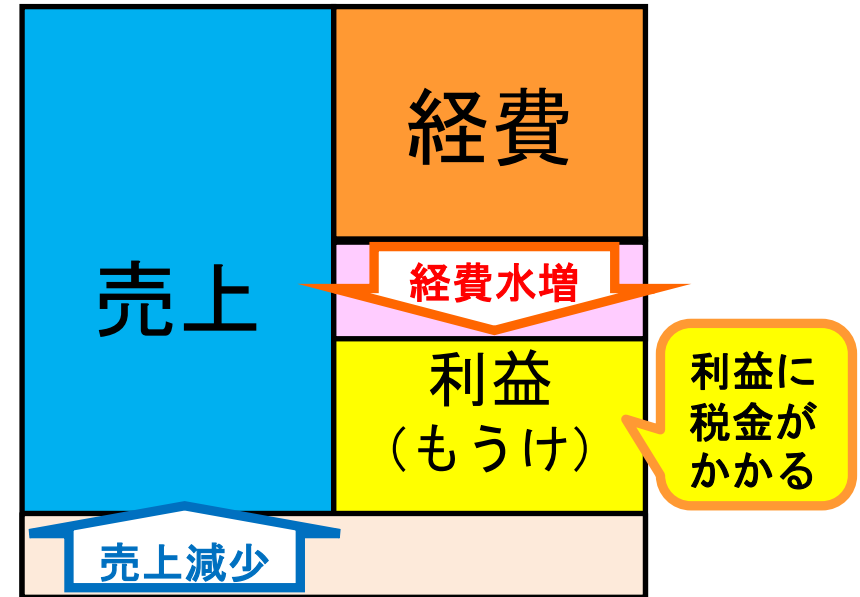


公平な賦課及び徴収

脱税とは？

税金をごまかして少なく納めたりすること

例えば、売上の金額を少なく計算したり、買っていないものを経費とするなどして、もうけたお金の金額を実際より少なく見せかけること



脱税した人はどうなる？

正しい金額の税金を納めてもらいます

特に悪質な人は、正しい金額の税金を納めるだけでなく、裁判にかけられ、判決によっては罰金を払ったり、刑務所に入れられます

税金の種類

【主な税金の種類】

(③所得課税：青 消費課税：黒 資産課税等：茶)

		②直接税	②間接税
①国税		所得税 法人税 復興特別所得税 地方法人税 相続税 贈与税	消費税 酒税 揮発油税 石油石炭税 石油ガス税 関税 航空機燃料税 たばこ税 自動車重量税 とん税 印紙税 登録免許税
①地方税	都税・道府県税	都道府県民税 事業税 自動車税 狩猟税 不動産取得税 固定資産税	地方消費税 都道府県たばこ税 ゴルフ場利用税 軽油引取税
	市町村税	市町村民税 軽自動車税 固定資産税 事業所税 都市計画税	市町村たばこ税 入湯税

税の役割

- 私たちが健康で文化的な生活を送るための
「社会の会費」のようなもの
「みんなのために役立つ施設」
「助け合いのための活動」のために
必要なたくさんの費用を、みんなで負担する
⇒ **「支え合い」**により成り立っている社会



暮らしの中の税(教育費)

～公立学校の小学生、中学生、高校生一人当たりの教育費(2017年度)～



小学生

約885,000円

月額約73,800円



中学生

約1,043,000円

月額約86,900円



高校生(全日制)

約988,000円

月額約82,300円

小学生 約885,000円×6年間 = 約 5,310,000円

中学生 約1,043,000円×3年間 = 約 3,129,000円

高校生 約988,000円×3年間 = 約 2,964,000円

合 計

約 11,403,000円

日本の財政

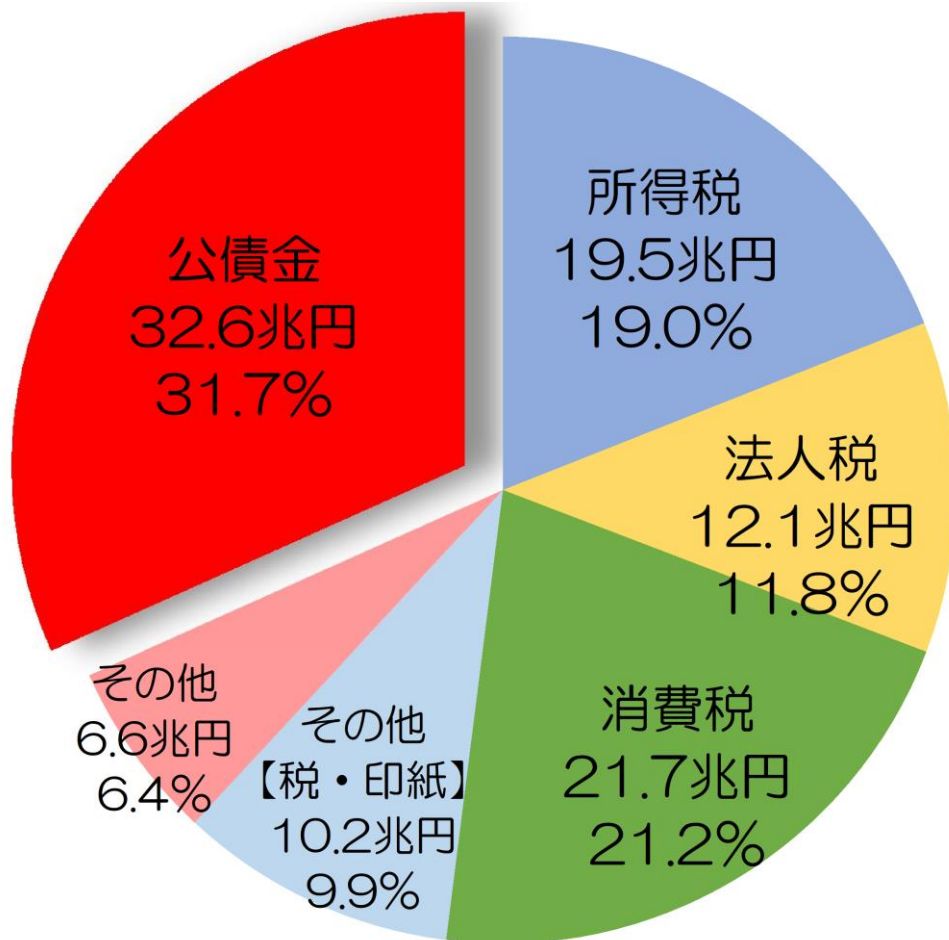
税に関する法律（税負担の方法）と税の使い道（予算）は、国民の代表者である議員が国会（地方の場合は地方議会）で決めています。



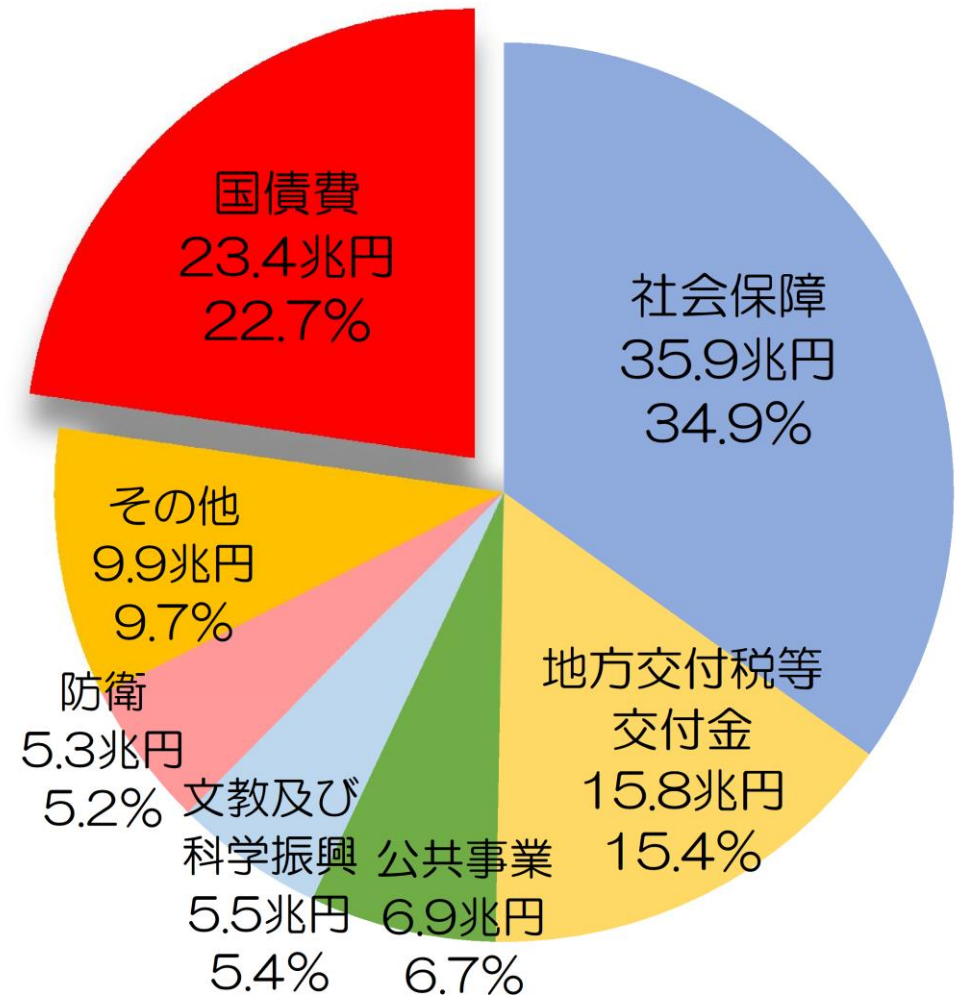
日本の財政(予算)

【2020年度予算：102兆6580億円】

【歳入】

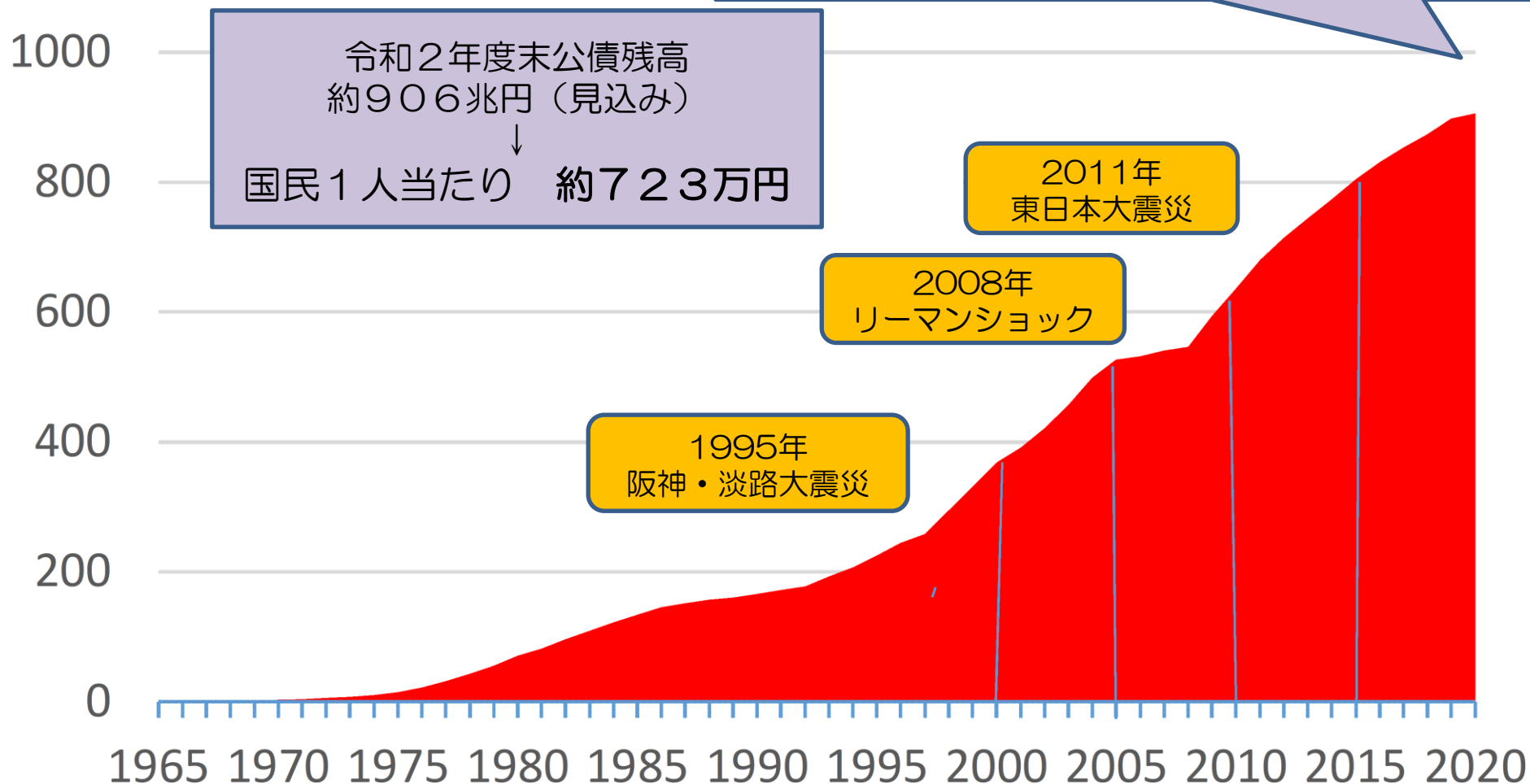


【歳出】



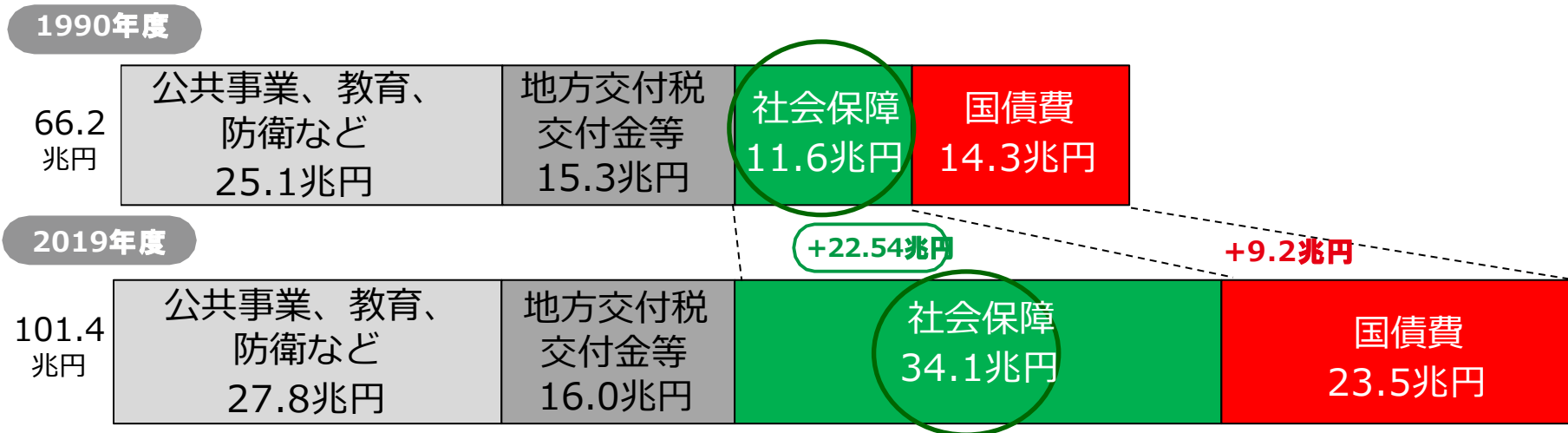
日本の財政（公債残高）

国の借金総額の推移

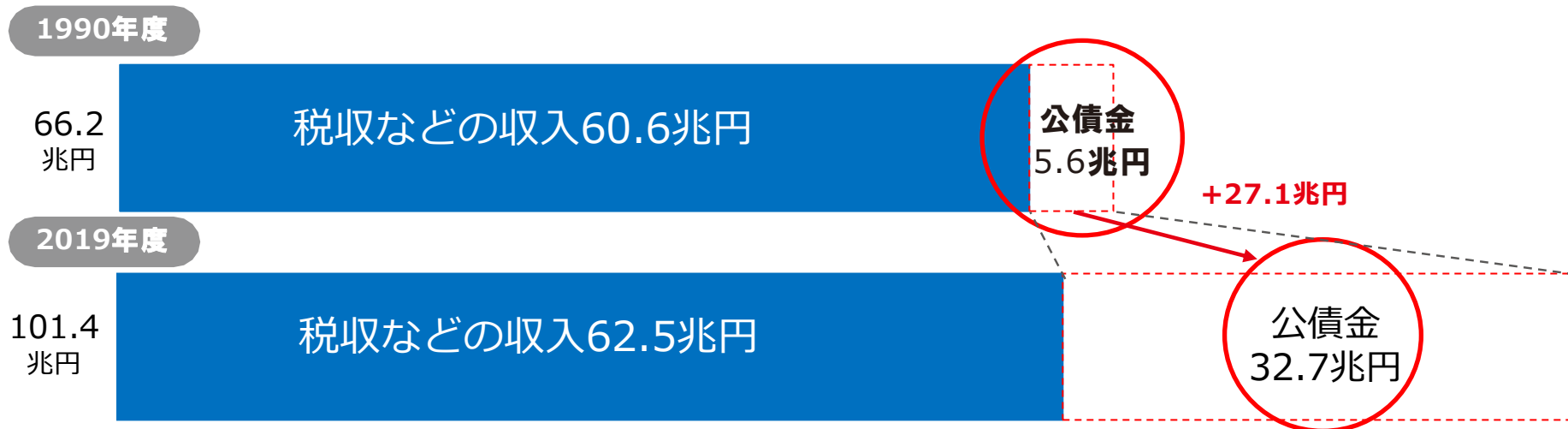


日本の財政（財政構造の変化）

歳出



歳入



日本の財政（国の予算を家計にたとえると・・・）

令和2年度財政状況

〈収入〉	
税収＋税外収入	70.1兆円
〈支出〉	
基礎的財政収支対象経費	79.3兆円
うち地方交付税等	15.8兆円
国債費	23.4兆円
支出計	102.7兆円
公債金収入（借金）	32.6兆円

1ヶ月分の家計に例えた場合

〈収入〉	
月収	30万円
〈支出〉	
家計費	34万円
うち仕送り	7万円
ローン元利返済	10万円
支出計	44万円
不足分（借金）	14万円

こうした借金が累積して、年度末には・・・

公債残高 906兆円

ローン残高 4653万円

財政の機能

資源の配分機能

公共サービスの提供・公共施設の設置

所得の再分配機能

高所得者から低所得者に所得(富)の分配

景気調整機能

税負担の増減により景気を調整する

ではここで、
みなさんを税金のない世界
～アナザーワールド～
へ御案内します。

日本の財政問題（少子高齢化）

働き手（20～64歳）と高齢者（65歳以上）の比率

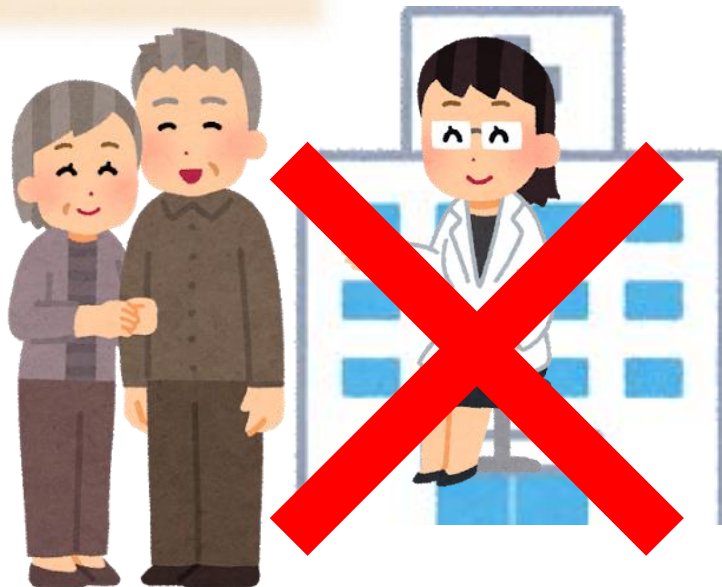
1975年 7.7人分の1 ➡ 2000年 3.6人分の1 ➡ 2025年 1.8人分の1 ➡ 2050年 1.3人分の1

問題点

- ① 社会保障関係費
(年金・医療費等)が増加
- ② 少子化等による働き手の減少に伴い税収が低下



財政のバランス



納税の義務

日本国憲法 第30条

**「国民は、法律の定めるところにより、
納税の義務を負ふ。」**

まとめ

- ① 税金とは・・・
公共サービスや公共施設の財源で、社会を成り立たせるために必要（社会共通の会費）
自ら負担し、公共サービスなどの利益を受ける。
- ② 日本の財政の状況を知る
収入＜支出（借金の増加）
高齢化による社会保障費の増加
- ③ 税金の使い道などに、しっかりと目を向ける（選挙）

本日はありがとうございました。



わかいやすい税制度を考えよう！！

- ・ なぜこんなにたくさんの税金があるのか？
- ・ もっと単純な税の制度にすれば、国民にわかりやすく

「難しそう」というイメージもなくなるのでは！

① グループを作る

② 国民A・国民B・国民Cが公平と思える 税制を議論

【注意事項！】

- ・ グループで話し合って、税制度を決定
- ・ ①～⑤の税制の中から、一つ選択（理由も考える）
- ・ 国民に「公平」な税制度を決定すること

税金で300万円を集めよう！

区分	所得	①	②	③	④	⑤
		同額ずつ	A だけ	30%	累進課税	それ以外
A	700 万円	100 万円	300 万円	210 万円	35% → 245 万円	
B	250 万円	100 万円	0 円	50 万円	20% → 50 万円	
C	50 万円	100 万円	0 円	15 万円	10% → 5 万円	
合計	1,000 万円	300 万円	300 万円	300 万円	300 万円	

- ・ 1つの国として①～④の税制の中で最も国民に公平な課税方法を選択
- ・ ①～④以外の課税方法とする場合は⑤選択（具体的な課税方法を考える）
- ・ なぜその課税方法を選択したのか、その理由も記載

区分	所得	①	
		同額ずつ	残額
A	700万円	100万円	600万円 
B	250万円	100万円	150万円 
C	50万円	100万円	$\Delta 50$ 万円 
合計	1,000万円	300万円	700万円

・ 全員同額

・ 公平なように思えるが...

・ Cは所得以上の負担
借金して税金を支払う

少し極端な課税方法

稼ぎにかかわらず同額で課税
稼ぎの少ない人に影響が大きい

区分	所得	②	
		Aだけ	残額
A	700万円	300万円	400万円 
B	250万円	0円 	250万円
C	50万円	0円 	50万円
合計	1,000万円	300万円	700万円

・ 最も所得の高いAのみ課税

・ Aの残額は、Bの250万円より多く、B、Cからすれば公平

・ Aにとっては不公平

稼ぎが多い人だけ、たくさん支払う
稼ぎが多い人から見ると不公平

区分	所得	③	
		30%	残額
A	700万円	210万円	490万円 
B	250万円	75万円	175万円 
C	50万円	15万円	35万円 
合計	1,000万円	300万円	700万円

・ 同率で課税、一見公平

・ A、B、Cを感じる30%はそれぞれ違う

・ 仮に生活費が最低40万円必要とすれば、Cは生活費が払えない

稼ぎが多さにかかわらず同率で課税
稼ぎの少ない人に影響が大きい

区分	所得	④	
		累進課税	残額
A	700万円	35% → 245万円	455万円
B	250万円	20% → 50万円	200万円
C	50万円	10% → 5万円	45万円
合計	1,000万円	300万円	700万円

・ 高い所得の人からは高い税金、低い所得の人からは低い税金

・ 一見公平に見えるが...

・ 働けば働くほど納める税金が高くなる
⇒ 働かないほうが...

**稼ぎが多い人から多く、少ない人からは少なく
稼ぎの多い(人よいたくさん努力)人が、多く負担するのは公平？ 働く意欲が低下**

日本の税制（イメージ）

区分	所得	同額 ずつ	Aだけ	定率 (10%)	累進課税	負担額	残額
A	700万円	1万円	14万円	70万円	19% ➡ 133万円	218万円	482万円
B	250万円	1万円	0円	25万円	18% ➡ 45万円	71万円	179万円
C	50万円	1万円	0円	5万円	10% ➡ 5万円	11万円	39万円
合計	1,000万円	3万円	14万円	100万円	183万円	300万円	700万円

【例】

- 「同額ずつ」 = 消費税（生活必需品の購入）など
- 「Aだけ」 = 固定資産税（土地所有者のみ課税）、自動車税など
- 「10%」 = 法人税、住民税など
- 「累進課税」 = 所得税（5%～45%の累進課税）、相続税など

公平に負担するってどんなこと？

- みんなが同額を負担する
- 負担能力に応じて負担する
- 働く世代が負担する
- 全ての世代が負担する

生活が苦しい人も同じ額？

負担能力のある人に頼りすぎると...

働く意欲が...

収入のない人も負担するの？

立場が変われば

不公平に感じる人が出てくるんだね